

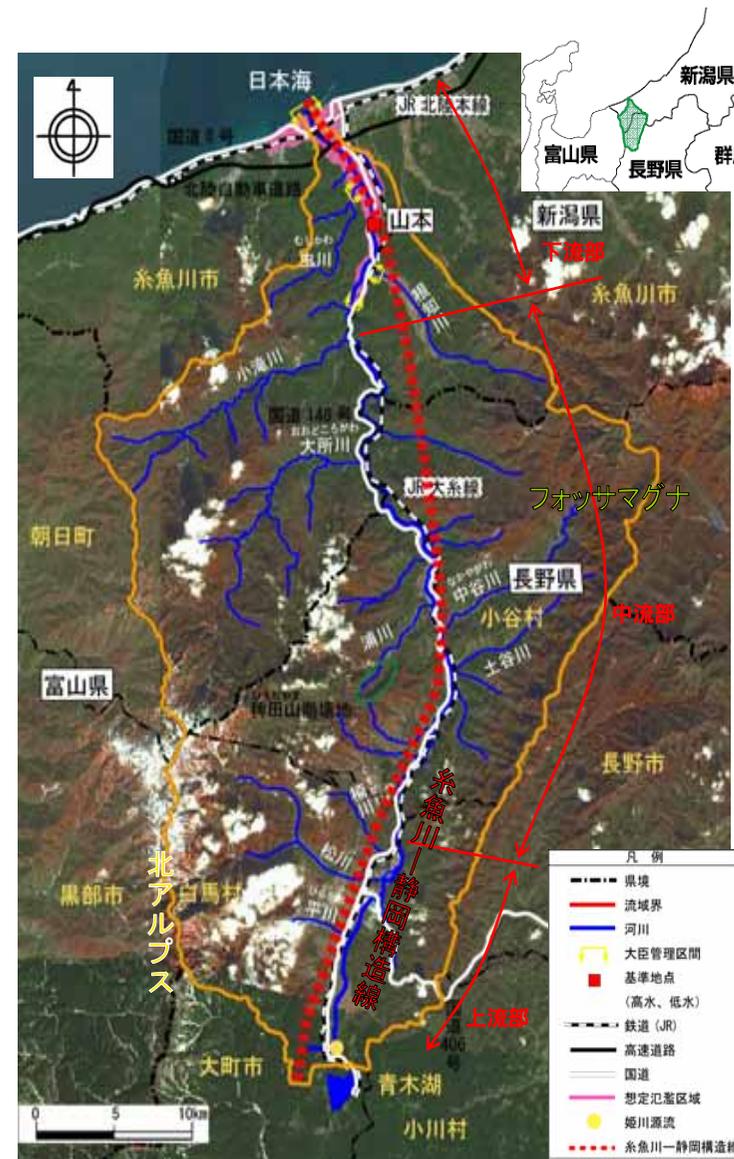
3 . 姫川と流域の概要

3 . 姫川と流域の概要（河川・流域の概要）

流域面積（集水面積）：722km²
 （山本地点上流）：690.2km²(96%)
 幹川流路延長：60km
 流域内人口：約1万8千人
 想定氾濫区域面積：約9km²
 想定氾濫区域人口：約8千人
 想定氾濫区域内資産額：約1,300億円
 主な市町村：糸魚川市(新潟県)、
 白馬村、小谷村(長野県)



姫川

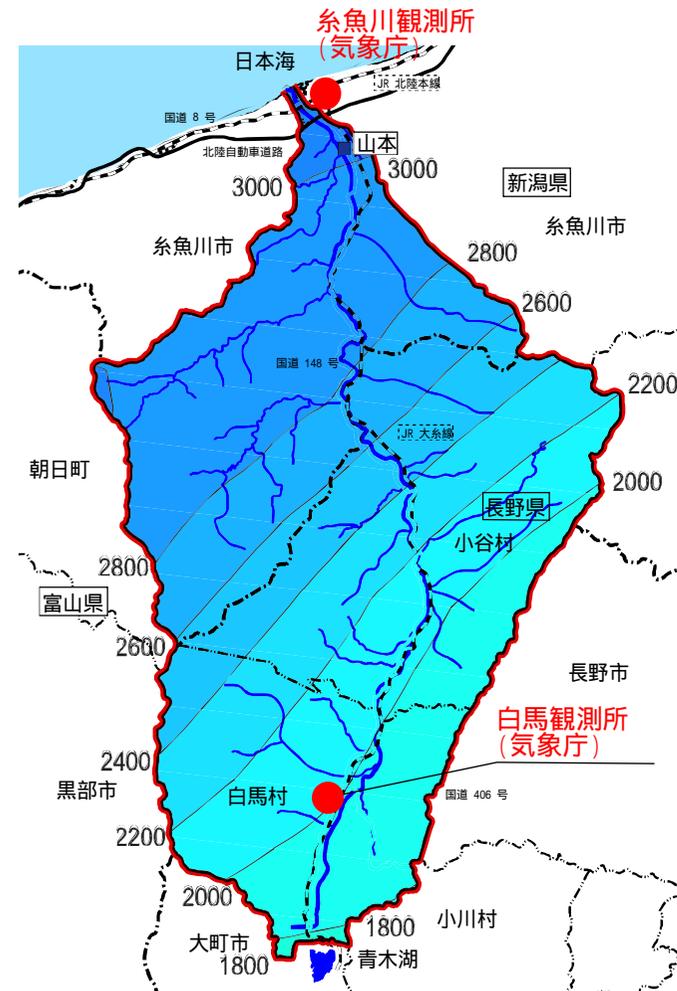
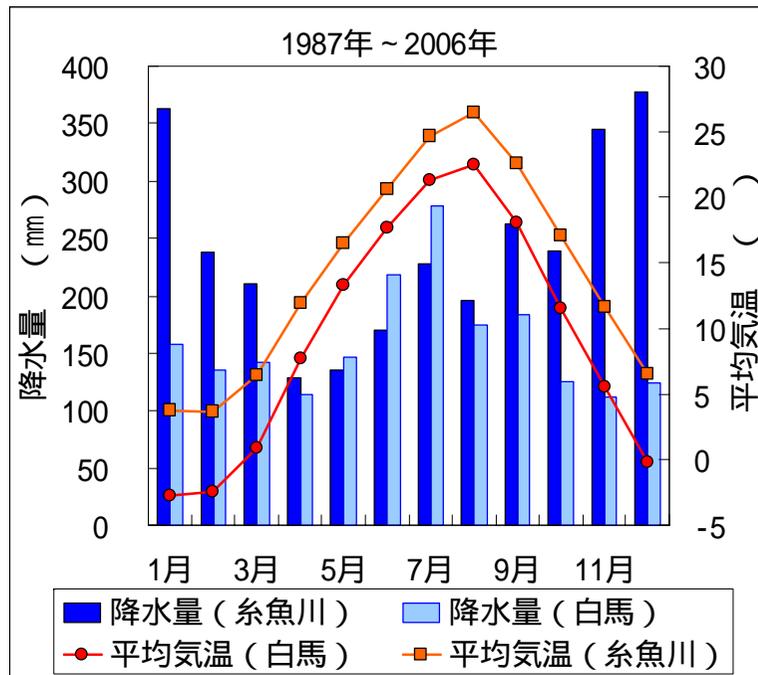


姫川流域図

3 . 姫川と流域の概要（気候）

気候

- ・ 上流部は内陸性気候の影響により寒暖差が大きい
- ・ 中下流部は季節風の影響により積雪量が多い



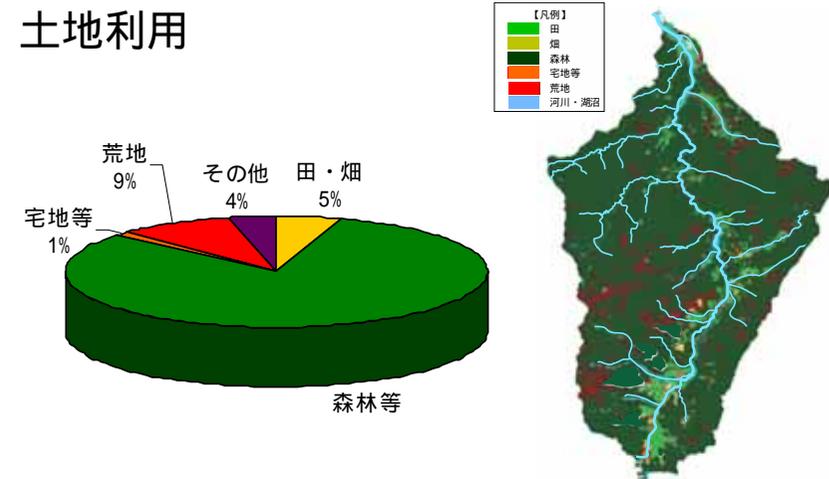
3 . 姫川と流域の概要（土地利用・人口・産業）

土地利用：山林の占める割合が多く、平地は河口部付近のみ

人口：全体では減少傾向にある

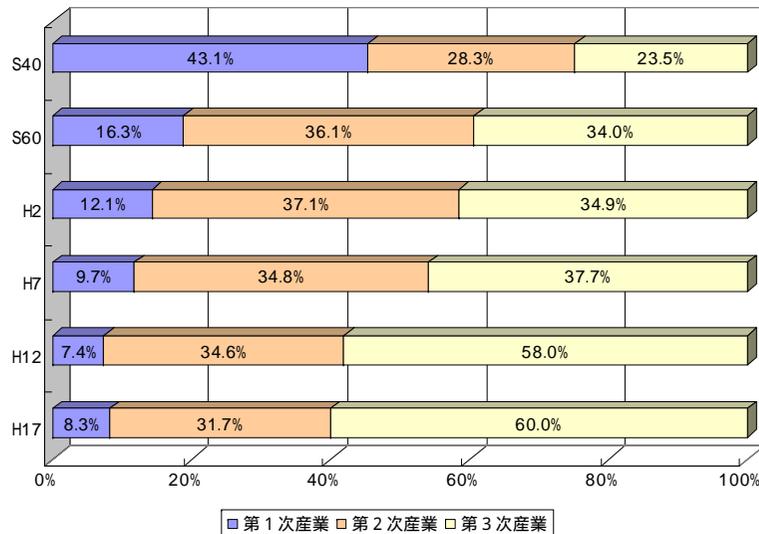
産業：スキーやマリッジなどの観光産業が盛んなことから第3次産業従事者の割合が高い

土地利用



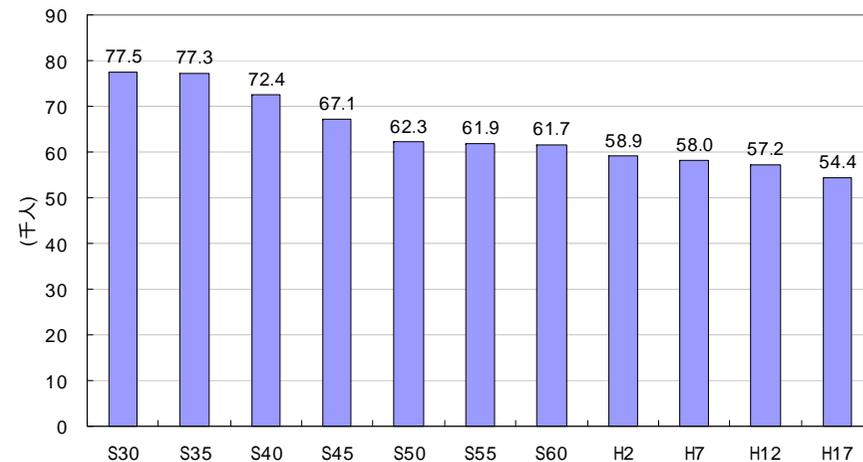
姫川流域市町村の土地利用割合

産業



姫川流域市町村の産業別就業人口割合の推移

人口

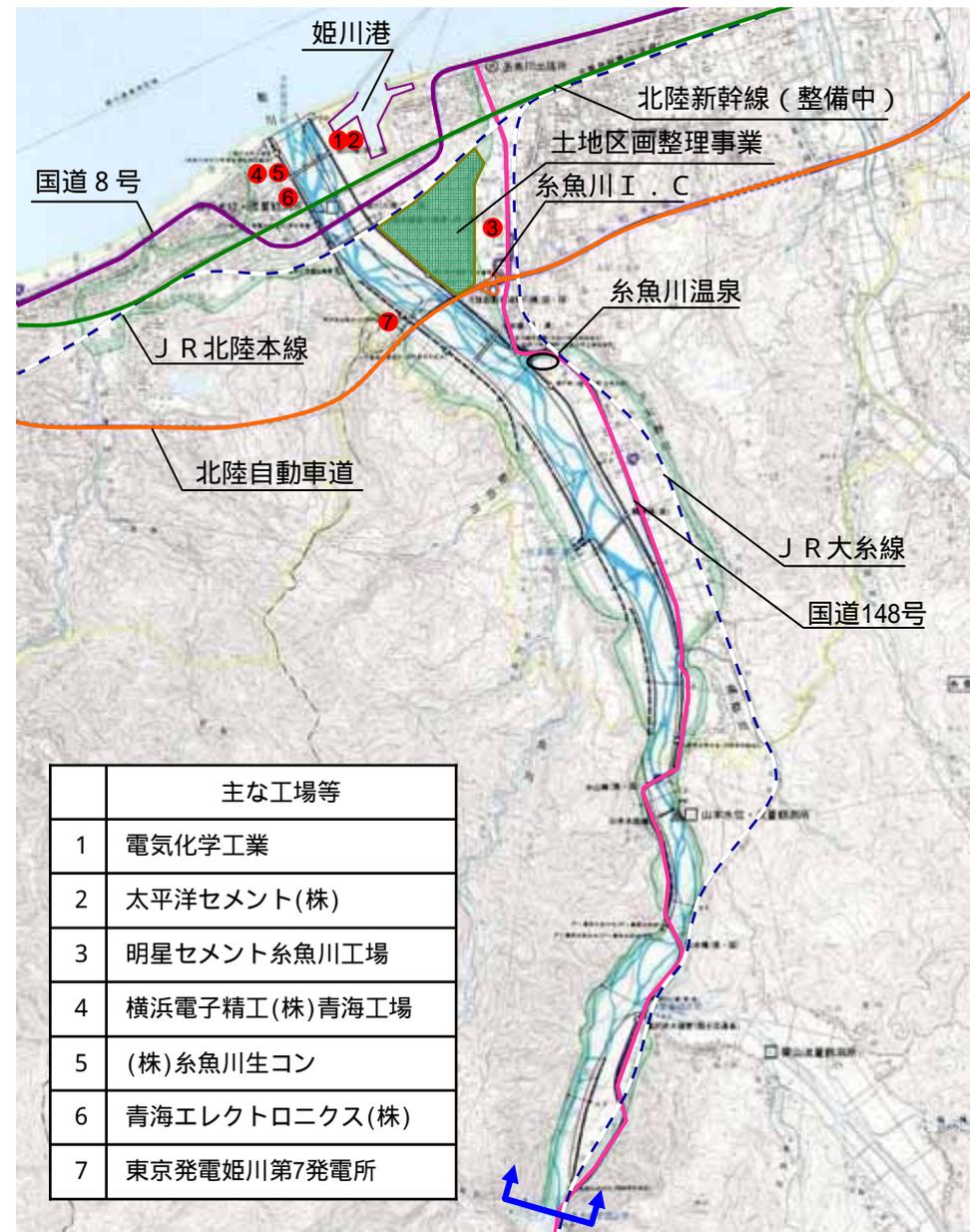


姫川流域関連市町村人口の推移

3 . 姫川と流域の概要（交通と社会経済）

主な基幹整備

- 国道 8 号
- 国道 1 4 8 号
- 北陸自動車道と糸魚川 I . C
- 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路（調査中）
- J R 北陸本線
- J R 大糸線
- 北陸新幹線（整備中）
- 地方港湾姫川港
- 糸魚川温泉
- 糸魚川 I . C 土地区画整理事業



交通体系図及び主な工場等

3 . 姫川と流域の概要（姫川的主要洪水と治水対策）

主要洪水

明治44年8月 稗田山大崩壊（土砂災害）

土砂直撃による流出家屋26戸 死者23名
崩壊土砂は浦川の谷を埋め尽くした上、姫川も堰き止め、天然ダムを形成。天然ダムは約3km上流の下里瀬まで達する

明治45年7月 天然ダム決壊（水害・土砂災害）

豪雨により天然ダムが決壊、濁流は北小谷から糸魚川まで、姫川に架かっていた橋全てを流失。水崎で堤防が決壊

昭和34年9月 台風15号（伊勢湾台風）（土砂災害）

流量（大前地点実績値）：約1,120m³/s
松川の堤防が決壊して白馬北小学校をはじめ114戸が被災、被害総額は当時額で2億9,000万円

昭和40年7月 7.13洪水（水害）

流量（大前地点実績値）：740m³/s
被害家屋：2戸

昭和44年8月 前線集中豪雨（水害）

流量（八幡屋敷地点実績値）：1,860m³/s
床上浸水戸数：120戸 床下浸水戸数：205戸

昭和56年8月 台風15号（水害）

流量（山本地点実績値）：1,320m³/s
床上浸水戸数：6戸 床下浸水戸数：39戸

平成7年7月 梅雨前線（水害・土砂災害）

流量（山本地点実績値）：2,840m³/s
（洪水中に水位計が流され、夜間の量水標目視により観測できた最高水位から算出した流量）
流量（流出計算で推定した場合）：4,400m³/s
家屋全半壊：38戸
床上浸水戸数：48戸 床下浸水戸数：195戸

治水対策

明治45年以降 新潟県による改修工事が実施される
明治45年7月洪水を契機に、現在の堤防位置に築堤が始まる（大正4年頃まで）

昭和35年 河川局部改良事業に着手（新潟県）
計画高水流量：2,790m³/s（河口～根小屋）

昭和44年4月 工事实施基本計画策定
計画高水流量：5,000m³/s（山本地点）
一級河川指定：河口～11.0k

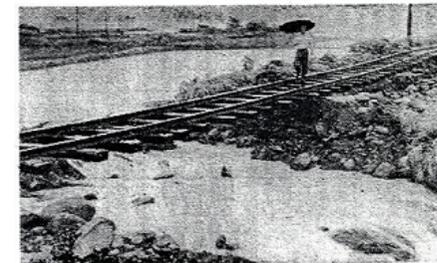
平成7年～平成12年 平成7年災一級河川姫川水系
姫川災害復旧助成事業

平成20年6月 河川整備基本方針策定
計画高水流量：5,000m³/s（山本地点）

3 . 姫川と流域の概要（昭和40年7月洪水）

昭和40年7月洪水

- 7月12日夜から13日朝の降雨により、13日午前8時頃糸魚川市大野の姫川右岸の堤防が約300mに渡って決壊した。このため、床上浸水1戸、床下浸水1戸、田畑4haが浸水した他、国道148号線が水没した。
- 17日未明の降雨により糸魚川市大野地区横戸付近（13日朝に決壊した同堤防上流箇所）約30m決壊した。このため、床下浸水1戸、水田の被害が発生した。



濁流に満床を流れ掛つりになった大米線の線路—佐渡四ツ谷—佐渡郡上郷で

昭和40年7月14日（新潟日報）



昭和40年7月13日（糸魚川市史昭和編より）

3 . 姫川と流域の概要（昭和44年8月洪水）

昭和44年8月洪水

- ・ 8日から9日朝にかけて100mmを越す集中的な降雨があり、11日までに糸魚川で総降雨量194mmに達する豪雨となった。
- ・ 姫川の八幡屋敷で警戒水位2.80mを超え、3.10mに達し最大流量は1,570m³/s を記録した。



押し流された今井橋と堤防（糸魚川市史昭和編より）

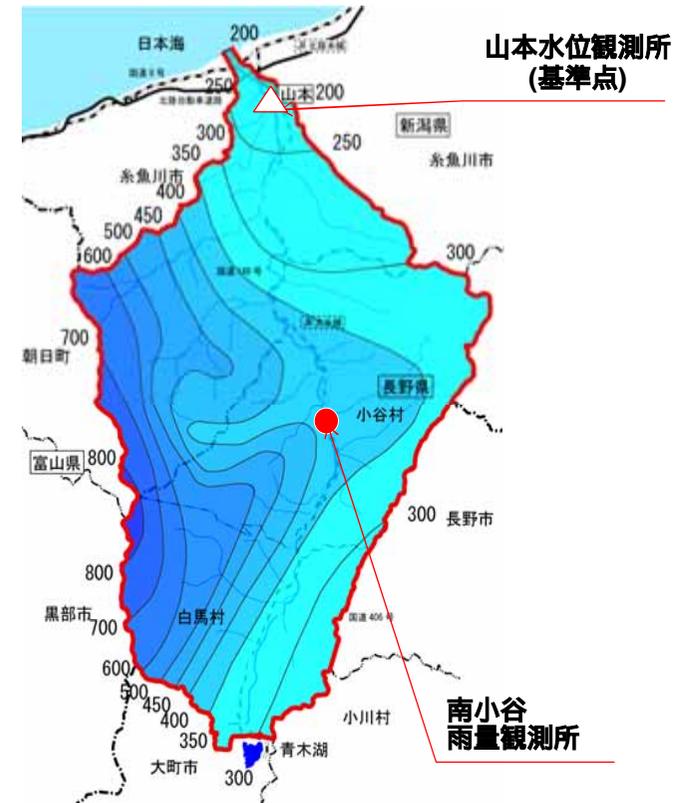
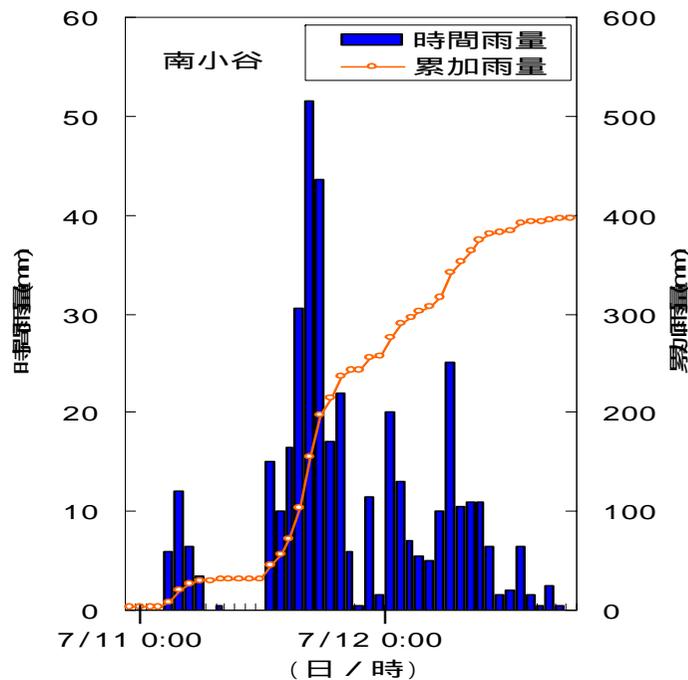
：流出計算による

3 . 姫川と流域の概要（平成7年7月洪水）1/3

平成7年7月洪水

- 山本上流域の流域平均24時間雨量が約340mmに達し、堤防の決壊、大系線の不通、大所地区での土石流等の被害が発生
- 7月11日から降り始めた雨は、南小谷雨量観測所で11日18時に最大時間雨量52mmを記録。連続雨量は流域平均で394mm

出水被害状況	
流量(山本地点実績値)【m ³ /s】	2,840
死者【人】	不明
家屋全・半壊【戸】	38
半壊床上浸水戸数【戸】	48
床下浸水戸数【戸】	195



3 . 姫川と流域の概要（平成7年7月洪水）2/3

- ・直轄管理区間では、糸魚川市上刈地先で堤防が160mにわたって洗掘破堤するとともに、同市大野地先でも210mが堤防欠壊したほか、9箇所で河岸施設の破損、河岸欠壊が生じた。
- ・この洪水により、直轄管理区間内の被害は40棟が床上、床下浸水した他、14.7haが冠水した。

直轄
管理
区間



河岸洗掘による破堤状況（糸魚川市上刈地先）



堤防欠壊状況（糸魚川市大野地先）

新潟
県
管理
区間



土砂堆積前（洪水前）



土砂堆積後（洪水後）

（新潟県平岩地区）

3 . 姫川と流域の概要（平成7年7月洪水）3/3

- ・ 糸魚川市上刈地先で堤防が洗掘破堤し、浸水（40棟が床上、床下浸水した他、14.7haが冠水）。同市大野地先でもが堤防欠壊
- ・ 上流域では、大規模な土砂流出を伴う洪水により、甚大な被害が発生

被災及び緊急復旧箇所位置図

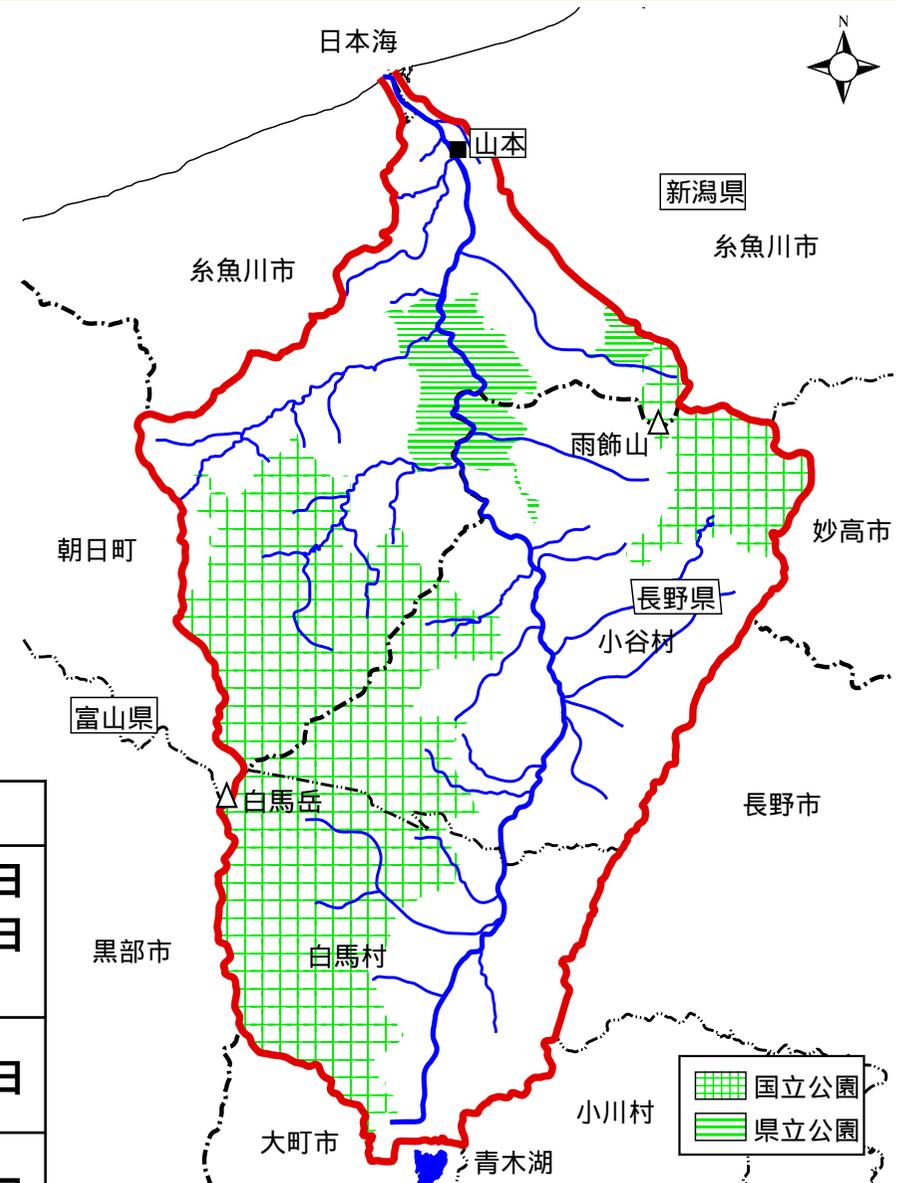


3 . 流域及び河川の概要（自然公園等の指定状況）

- 自然公園等
- ・ 上流部、西側山岳地帯が中部山岳国立公園に指定
 - ・ 右支川中谷川上流域が上信越高原国立公園の一部に指定
 - ・ 下流域の小滝川及び根知川流域周辺では白馬山麓県立自然公園に指定

自然公園一覧

摘要区域名等	名称	指定
国立公園	上信越高原国立公園	昭和29年 9月 7日 昭和31年 7月10日 追加指定
	中部山岳国立公園	昭和 9年12月 4日
新潟県 自然公園	白馬山麓 県立自然公園	昭和32年 3月24日



姫川流域の自然公園等位置図

3 . 姫川と流域の概要（特徴的な河川景観や文化財等）

姫川の名の由来

「古事記」や「出雲風土記」などの古代文献に、高志国（現在の福井県から新潟県）の姫として登場する「奴奈川姫」に、出雲国（今の島根県）の大国主命が求婚しに来たという神話が残されており、その際にヒスイが使われるなど、古い歴史を持っている。この奴奈川姫が姫川の由来とされている。



奴奈川姫
（糸魚川駅前公園）



ヒスイの曲玉

観光・景勝地



小滝ヒスイ峡
（糸魚川市大字小滝）



松本街道（塩の道）
（糸魚川～松本）

文化財等



青鬼地区
（長野県北安曇郡白馬村）



木造十一面観音像
（糸魚川市清崎）